

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月2日

配布数 8

回収数 8

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール朝霞台

|  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 無回答    | 割合 (%) |               |       |       | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標   |
|--|---|----|---------------|-----|--------|--------|---------------|-------|-------|---|--|
|  |   |    |               |     |        | はい     | どちらとも<br>いえない | いいえ   | 無回答   |   |  |
| 環境・<br>体制<br>整備  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 4  | 3             | 1   | 0      | 50.0%  | 37.5%         | 12.5% | 0.0%  | ・グループがMAX6名になると部屋が狭いためやれる活動が限られる。   | ・環境設定などの工夫や遊びの幅を広げるなど、出来る事を考えていく。  |
|  | 2 職員の配置数は適切であるか   | 7  | 1             | 0   | 0      | 87.5%  | 12.5%         | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 3  | 3             | 1   | 1      | 37.5%  | 37.5%         | 12.5% | 12.5% | ・運動の部屋（ソウ）の声や音が個室（リス）に入り、児が集中しにくい。また保護者が部屋の様子、児の声を聞き取れず状況が判断しにくい。           | ・現在のその幹ごとに部屋の使い方を都度決めるのではなく、基本を全員でソウ（運動）→個室+ソウ（机上）とし、静と動の時間を合わせる。リスとソウで同時に活動であっても同じ机上活動とすることで、聞き取りやすくする。 |
|  | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 5  | 2             | 1   | 0      | 62.5%  | 25.0%         | 12.5% | 0.0%  | ・床のクッションがない所や配線が見えている所がある。  | ・こまめに点検、修繕していく。  |
| 業務<br>改善   | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | 7  | 1             | 0   | 0      | 87.5%  | 12.5%         | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                         | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  | ・職員が「なぜ？」という視点でより広く見立てる力をつけていきたい。   | ・見立てる力として今あるツールを再確認したり、言葉、微細活動などためになる記事がファイリングしてあるので、もっと活用する。  |
|  | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか  | 6  | 2             | 0   | 0      | 75.0%  | 25.0%         | 0.0%  | 0.0%  | ・遠城寺式やK式など基準のツールはあるが、使いこなせてはいないと感じることがある。                                   | 同上   |
|  | 11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか   | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 13 活動プログラムの立案をチームで行っているか  | 5  | 3             | 0   | 0      | 62.5%  | 37.5%         | 0.0%  | 0.0%  | ・意見を求めるとすぐに返ってくる関係ではあるが、毎プログラムではない。<br>・グループなどプログラム内容をみんなで考えられるとよい。（特に2才児G） | ・毎回新しい内容、異なる内容ではなく継続性のある活動が出来るよう、歌や手遊びを2か月継続にしているように活動も継続性を持たせるよう、カンファで次回リーダーへ引き継ぐ。                      |
|  | 14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか   | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか  | 6  | 2             | 0   | 0      | 75.0%  | 25.0%         | 0.0%  | 0.0%  | ・机上に比べ、運動プログラムは細かい設定や打合せが少なく感じることがある。                                       | ・感覚調整遊具を十分に使い、「楽しませる」活動ではなく感覚の入力や調整が出来る時間として、意識する。ねらい、その日の評価を十分に振り返りで伝える。                                |
|  | 17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか   | 8  | 0             | 0   | 0      | 100.0% | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
| 18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                 | 8   | 0  | 0             | 0   | 100.0% | 0.0%   | 0.0%          | 0.0%  |       |   |  |
| 19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか                | 8   | 0  | 0             | 0   | 100.0% | 0.0%   | 0.0%          | 0.0%  |       |   |  |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか   | 6  | 2             | 0   | 0      | 75.0%  | 25.0%         | 0.0%  | 0.0%  |   |  |
|  | 21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか   | 6  | 1             | 1   | 0      | 75.0%  | 12.5%         | 12.5% | 0.0%  |   |  |
|  | 22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか   | 7  | 1             | 0   | 0      | 87.5%  | 12.5%         | 0.0%  | 0.0%  | ・園訪問を実施。電話で担任と連絡を取り情報収集や質問へのアドバイスをを行う。園に向けての申し送り書を作成する時がある。                 | ・来年度より開始する保育所等訪問と家庭連携での訪問の違いを職員間で周知する。また関係機関連携IIでの就学先との連携を行うので次年度に経験を活かす。                                |
|  | 23 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか   | 7  | 1             | 0   | 0      | 87.5%  | 12.5%         | 0.0%  | 0.0%  | ・これまで不十分だった申し送り書作成後の面談を今年は考えている。  | 同上   |
|  | 24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  | 4  | 4             | 0   | 0      | 50.0%  | 50.0%         | 0.0%  | 0.0%  | ・十分に参加できていない。<br>・もう少し他事業所とも連携したい。  | ・目的や必要性を確認した上で、SEDスクール間の見学や（ヘルプではなく）、他事業所、支援校、支援級への見学が出来る機会を作る。  |
|  | 25 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか   | 3  | 2             | 3   | 0      | 37.5%  | 25.0%         | 37.5% | 0.0%  |   |  |
| 26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか       | 7   | 1  | 0             | 0   | 87.5%  | 12.5%  | 0.0%          | 0.0%  |       |   |  |

|            |    |   |   |   |   |   |        |       |      |      |  |
|------------|----|---|---|---|---|---|--------|-------|------|------|--|
| 保護者への説明責任等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 6 | 2 | 0 | 0 | 75.0%  | 25.0% | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 28 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 6 | 2 | 0 | 0 | 75.0%  | 25.0% | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 29 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% | ・振り替えの場で行い、時間を要する時は事業所内相談などで十分に話せるようにする。 |
|            | 30 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | 7 | 1 | 0 | 0 | 87.5%  | 12.5% | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 31 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% | ・掲示物が増えているので、目にとまりやすい工夫をした。              |
|            | 32 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% | ・掲示物について整理整頓し、環境を整えます。                   |
| 非常時等の対応    | 33 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 34 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | 7 | 1 | 0 | 0 | 87.5%  | 12.5% | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 35 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 36 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% | ・成長確認シートに項目を作り、記入してもらう。                  |
|            | 37 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 8 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0% |  |
|            | 38 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 7 | 1 | 0 | 0 | 87.5%  | 12.5% | 0.0% | 0.0% | ・場合によって報告、連絡、相談をしながら対応を考えている。            |